

貧困と子どもと学力との

関連は

問 貧困と学力との関連について、袋井版学力・学習調査での検討員合ははどうか。

答 調査したところ、経済格差と学力との相関が推定できた。経済的に恵まれていない子どもたちも通える学習の場の提供に取組んでいるNPO法人や地域団体との連携を強め、活動を支援していく。また、4月から中学生を対象とする支援事業も開始した。

ブロック塀の

耐震改修が進まない

問 耐震化の促進には、自治会ごとで避難経路の図上訓練や踏査をすべきではないか。

答 避難経路の確認は自助・共助の分野であり、地域ぐるみで取り組んでいただきたい。



熊本地震により倒壊したブロック塀

汚水処理事業には

個人負担に差がある

問 公共下水道区域を減らし、合併処理浄化槽区域を拡大する計画が進んでいるが、維持管理費など個人負担に差がある。どう解決するのか。

答 現行の設置補助、新たな維持管理補助の導入とあわせ、来年度までに支援制度の方針を決定したい。市町村設置型の導入は、様々な検討をしたい。

駅南地区における

商業施設の考え方は

問 市長のモール発言はどのように活かされているか。

答 三つの施設が個別に建築されたものはモールではない。市民が集い、休息でき、賑わいをもたらす空間があること。これが達成できなければ、どの業者でも認められない。モールの図面は引き続き要請していきたいが、来年3月末までに本申請の提出は非常に厳しい。

新幹線南側耕作放棄地の

活用は

問 予定されている遊水池公園一帯の荒廃農地を早期に買収する考えは。

答 貯留容量1万6000トンの遊水池については、概略検討等を早めに進め、準備が整い次第買収できれば、雑草の問題もあわせて解決できると考える。



回遊性のあるショッピングモール

答 農業振興上、大変ありがたいことであるので、そのような話があれば、積極的に対応していきたい。

問 さらに遊水池公園予定地の西側耕作放棄地には、高齢者などの雇用の場や観光、農産物の販売などをあわせ持つICTを活用した農業ハウスの設置などはどうか。